

つくる、つくろう通信

No. 7 2003年4月10日
毎月1回発行



池田香代子さん(右)と司会の陣内やすこ(左)

『もし世界が100人の村だったら』 からみえるもの

3月15日、上記の講演会に参加しました。講師はこの本の再話者である池田香代子さんです。この本は一人ひとりの人生がかけがえのないものであることを改めて教えてください。

池田さん自身、この本に背中を押されて、難民救済や戦争反対の行動を寝るひまもないくらいの忙しさでやっています。そのわけを池田さんは「今まで、世の中を変える働きかけにちょっとおへそを横に向けていたけれど、心の中のコップに水がたまり、あふれだしたからで

す」と話しました。一人ひとりが私にもできること、私にしかできないことを始めることで、政治が変わり、世界が変わっていく、政治とはまさに生き方の問題であり、政治に心を開いて一歩近づいていく必要があります。

Think Globally, Act Locally!! 地域から、そして足元から多様性を受け入れ、誰もが尊重される社会にしていきたいという思いが会場にあふれていました。(陣内やすこ 記)



3月8日ピースアクションでつくられたバナー

当 陣内やすこと明日の八王子をつくる会

〒192-0913 東京都八王子市北野台4-16-2

TEL 0426-36-8631 FAX 0426-36-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/>



「はちバス」に乗ってみました

3月21日から運行が始まった地域循環バス「はちバス」に、八王子市役所前からケンウッド前までの約30分間、試乗してきました。路線バスより2回り小さい丸っこい車体に乗り込むと、オレンジ色の鮮やかなシートと、黄色の手すりに大きな窓が目に入ります。運転手さんは乗客が席に座ったことを確認して、いざ出発。途中、中野団地でおじいさんを降ろします。「気をつけて」と運転手さんの声が響きます。松葉杖をついた主婦も、バリアフリーのノンステップバスなため、楽々乗車でき、足も悠々と伸ばせるこのバスにご満悦。怪我以来億劫になった外出を楽しんでいました。

やがてきつくて細い坂道。民家の間の路地を駆け上がります。近くに住むという主婦は、「これでだいぶ楽になる」と笑顔で話してくれました。ただ、一日5本の運行のため乗り過ぎすと大変です。これから認知度と利用客が増え、路線や便数が多くなると良いと実感しました。

平成15年度は、東南部（片倉、絹ヶ丘、日興団地など）を走るルートが計画されていますが、具体的な内容は、まだ公表されていません。利用する市民の声が反映されるようにしたいものです。情報公開の必要性を痛感します。（高倉千香子 記）

はちバス：運行ルートは北の根東（川口町）から東海大学病院の全行程約110分。一日朝9時から夜7時まで2時間おきの5往復。一回100円（未就学児は無料）。お年寄りや子ども連れのお母さん、障がいを持っている方などの市民の移動を助ける公共輸送システム。



市民から公募の名前をつけた「はちバス」

● 次号ご案内 ●

八王子の元気パワー プリンセスマーケット(八王子地場野菜直売)

毎週水曜日北野駅北口ダイエー前、土曜日南大沢駅イトーヨーカ堂前で開かれているプリンセスマーケットの記事は紙面の都合上、次号（No. 8 5月発行）になりました。ごめんなさい。

池田香代子さん・講演会に参加して
(渡部綾子20代)

この本は不思議な感動を与えてくれました。この本の存在を一人でも多くの友人に紹介し、何かしら今までと違った考えを持ってもらいたいと強く思いました。

私自身に「考えなければならぬことを考えさせてくれた」講演会でした。

★私たちの会は、ひとりひとりの個人の集まりです。★暮らしやすいまちづくりを目指して、お金をかけず、お金の流れを透明にし、手づくりの活動を始めました。この会の趣旨に賛同される方は、どなたでも入会できます（年会費1000円）。ご一緒に考えていきませんか。ぜひ、ご入会ください。★毎月発行予定のこの通信は、Eメール配信もいたしますので、ご希望の旨、FAX（0426-36-8640）やE-mail（jinnaiya@mbk.nifty.com）でご連絡ください。

お名前	
ご住所	
TEL/FAX	
E-mailなど	

